

令和5年度自己評価結果公表シート

学校法人住吉清水学園 英明幼稚園住之江

1、園の教育目標

『三つ子の魂百まで』 「人を育てるのは人」を基本姿勢に、恵まれた教育環境の中で、子どもたちのすぐれた小さな成長の芽を早く見逃さずに伸ばし、才能を磨き、豊かな心、意欲、態度を培う。
<p>教育目標 「明るく、たくましく、辛抱強い子どもを育てる」</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然を愛し、美しいものに感動する心を育てる 他人を思いやる心を育てる ありがとうを言える素直な心や、感謝の心を育てる 豊かな精神と丈夫な身体を育てる 基本的な生活習慣を身につける

2、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
子どもたちの観察を深め 保護者とのコミュニケーションをとる	一日の保育の中で、子どもたちのいいところを観察の中から見つけて、子どもを認めて褒めることで子どもからのやる気を引き出す。子どもたちは、失敗することや物事に挑戦することから、身に着けていくことや、覚えていくことがあるので、その行動を前向きな方向へ変えていくようにしてきた。又、保護者とのコミュニケーションも1日の子どもの様子を情報共有することで、保護者の方とも協力しながら、子どもたちが成長できるように努めた。
教育内容の充実	<p>◎教育内容の質を高める</p> <p>ことばを正しく使い、童話や絵本などに興味をもつように努めた。</p> <p>行事運営については、コロナ禍で経験をしてきた中で、活かせる部分を更にブラッシュアップしていき子どもたちも保護者の方にも満足度の高い行事になるように工夫してきた。</p> <p>◎おとあそび～感性を育てる おとあそび～</p> <p>子どもたちが遊びながら、さまざまな音を聴いて一緒に表現を楽しみ、表現力を豊かに養えるよう取りくんだ。</p> <p>◎課外保育のさらなる充実</p> <p>体験会も実施し、興味関心のあるものにチャレンジし、選択する機会をもつ。また、課外保育の経験を普段の園の活動でも発揮できるように大切にしてきた。</p>
健康管理	<p>◎教職員および園児たちの健康管理</p> <p>コロナは5類に移行したが、コロナだけでなく一人ひとりの健康管理意識を高める。自分自身の健康管理を含め、感染防止対策を継続。みんなが安心して保育できる環境づくりに努めた。</p> <p>◎熱中症予防のために、熱中症指数の計測やその状況に合わせた行動基準をもって、子どもたちが健康に安心して活動できる環境づくりを行った。</p>
防災・防犯対策	<p>避難訓練を毎月実施。予告なしでの訓練も取り入れ、突然訪れる災害に備えた。</p> <p>ひとつの災害だけではなく、地震からの津波など複合的に場面を設定して、訓練することができた。</p> <p>災害時や不審人物等の情報がすぐに保護者の方に伝わるようにメール配信システムを活用。</p> <p>送迎時の玄関に男性職員の門番を配置することと合わせ、防犯カメラを設置し常時記録を行った。</p>

3、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

令和5年度はコロナの規制もなくなり、ようやく園の行事も保護者の方にも制限なく参加していただくことができた。園には活気が戻り、子どもも教職員もより前向きに笑顔で保育に取り組むことができた。ただ、そうした中での安全管理や防犯等の対策もより意識を高めていき、それに対する実践も必要となっており、訓練をおこないながら備えていくことを今後も継続していきたい。
--

4、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
教育内容の充実	教育内容の質を高める。まずは、教職員の意識をまとめる。新年度はじめに全教職員で1年のゴール設定を行い、教職員が共通意識を持って教育活動に取り組む。教職員の研修や定例会議でも確認していき、一つのチームとしてフォローしあいながら、教育の環境を整え、子どもたちの成長につなげていく。
教職員や子どもたちの自己肯定感をあげる	目の前で起こっている事実や状況を受入れ、それを前向きになるようにとらえ方を変え、そしてしてほしくないことを伝えるのではなく、素直にしてほしいことを伝えて、言葉がけをしていくことで、自己肯定感をあげる。
言葉を大切にする	言葉を大切にする。正しい言葉の意味を理解し、正しい言葉の使い方ができるようにする。そして、相手とのコミュニケーションが円滑にできるようにする。
安全管理	防災意識を高める。繰り返しの訓練で素早く行動できるようにしていく。安全管理の計画を必要に応じて見直し改善していく。教職員が子どもたちの安全を確保できるように訓練していく。
健康管理	教職員および園児たちの健康管理を行う 一人ひとりの健康管理意識を高める。自分自身の健康管理を含め感染防止対策を徹底する。安心して保育できる環境づくりに努める。 熱中症予防のために、熱中症指数の計測をしながら、水分補給や休息などその状況に応じて、必要な行動をとる。

5、財務状況

公認会計士の監査により、適正に運営されていると認められている。
